



# 令和6年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年8月10日

上場会社名 アプライド株式会社  
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介  
四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 092-481-7801

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	9,446	16.6	363	73.3	365	74.3	246	116.3
5年3月期第1四半期	8,098	10.1	209	60.8	209	61.4	114	66.8

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 248百万円 (115.6%) 5年3月期第1四半期 115百万円 (66.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	91.24	
5年3月期第1四半期	42.18	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	16,359	9,495	57.5
5年3月期	16,929	9,408	55.1

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 9,406百万円 5年3月期 9,321百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		20.00		60.00	80.00
6年3月期					
6年3月期(予想)		20.00		60.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.6	1,800	3.6	1,800	2.7	1,100	0.1	406.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期1Q	2,703,200 株	5年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	6年3月期1Q	122 株	5年3月期	122 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期1Q	2,703,078 株	5年3月期1Q	2,703,078 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、供給制約の緩和やインバウンド消費の回復などを背景に、内需主導で緩やかに持ち直しが見込まれるものの、物価上昇による家計の節約行動の長期化や国際情勢の緊張など、引き続き不透明な状況が続いております。

一方、IT分野においては、研究開発部門の増強、ルーティン業務の効率化、コスト削減を目的としたデジタル化への需要増加など企業のIT投資は底堅く推移しました。

このような状況の中、当社グループは、IT導入サポートを中心軸に、AIの研究開発利用促進、特別な環境下でも業務を停滞させない高耐久仕様のパソコン開発、データ保全ソリューション、オンライン保守サポート等、強みを活かした営業展開を図り、顧客増大と深耕を図りました。

全国26店舗を展開するパソコン専門店「アプライド」では、個人ユーザー及び地域の法人様向けの課題解決、専門性の追求による差別化を推し進めました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするSI営業では、高付加価値プライベートブランド製品及びサービスの充実、ソリューション提案に注力しました。また、東北エリアに新拠点を開設。全国23拠点体制となり、更なる営業体制の強化を行いました。

BtoB販売を中心とした特機営業では、人員を増強し、オンライン商談、オンラインセミナー等を活用し、新規販路開拓の推進、顧客の囲い込みを強化しました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は九州と愛知に計6店舗を展開し、独自開発商品の展開とイベント開催を軸に、増客と収益性の向上に努めました。

出版・広告事業においては、福岡を拠点とする「株式会社シティ情報ふくおか」にて、出版事業のみならず、SNSや動画などコンテンツ制作、行政・自治体事業、各種企画・運営など幅広く推進し、事業拡大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は94億46百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は3億63百万円（前年同期比73.3%増）、経常利益は3億65百万円（前年同期比74.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億46百万円（前年同期比116.3%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、用途別に特化した製品ソリューション販売を推進し、加えて、各種販促施策によりサービス売上が増加したことから、売上高は69億36百万円（前年同期比3.2%増）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、ひーな農園（自社農園）の採れたて野菜を使ったサラダビュッフェの提供、ワークショップ&お料理・お花教室の開催等により店舗の魅力を高め、プレミアム会員様限定セール等により売上拡大を推進し、加えて、卸売販売が堅調に推移したことから、売上高は24億34百万円（前年同期比77.9%増）となりました。
- ③出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、タウン情報誌や企画本の発刊による出版事業で培った取材力・編集力をベースに、SNS・動画コンテンツ制作、行政・自治体に向けた各種プロモーション企画等、幅広い事業に取り組み、売上高は76百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億70百万円減少し、163億59百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億27百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ6億57百万円減少し、68億63百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億13百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、94億95百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億46百万円等により利益剰余金が84百万円増加したためです。この結果、自己資本比率は、57.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,255	2,528
受取手形及び売掛金	6,348	5,806
棚卸資産	1,349	2,051
その他	90	141
貸倒引当金	△78	△82
流動資産合計	10,965	10,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,102	2,098
土地	2,361	2,361
建設仮勘定	2	0
その他（純額）	178	181
有形固定資産合計	4,645	4,642
無形固定資産	19	18
投資その他の資産		
敷金及び保証金	582	580
その他	716	672
投資その他の資産合計	1,299	1,252
固定資産合計	5,963	5,913
資産合計	16,929	16,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,219	2,806
1年内返済予定の長期借入金	411	382
未払法人税等	84	92
契約負債	1,753	1,765
賞与引当金	182	102
その他	787	726
流動負債合計	6,438	5,875
固定負債		
長期借入金	652	564
長期未払金	422	416
その他	7	7
固定負債合計	1,082	987
負債合計	7,520	6,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	8,031	8,115
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,322	9,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	87	88
純資産合計	9,408	9,495
負債純資産合計	16,929	16,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	8,098	9,446
売上原価	6,201	7,276
売上総利益	1,896	2,169
販売費及び一般管理費	1,686	1,805
営業利益	209	363
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	1	1
受取賃貸料	3	3
協賛金収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	7	6
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	5	3
その他	0	0
営業外費用合計	7	4
経常利益	209	365
税金等調整前四半期純利益	209	365
法人税、住民税及び事業税	9	72
法人税等調整額	84	44
法人税等合計	93	116
四半期純利益	116	248
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	114	246

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	116	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	115	248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	247
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。